



# 西川小学校だより

第2号  
R8.5.15  
校長 林 敏幸



5月1日（金）、全校生が楽しみに待っていた「1年生を迎える会」を開催しました。

6年生が協力して企画・運営を担当し、なかよし班（縦割り班）でゲームなどを行いました。

今回のゲームは「ハンカチ落とし」と「だるまさんが転んだ」。とてもシンプルな内容のゲームのため、1年生も班のお兄さんやお姉さんたちと一緒に笑顔で楽しむことができました。時間が過ぎるごとにあちらこちらから笑い声が上がリ、子どもたちの距離が縮まっていく様子が伝わりました。これからは、なかよし班を母体にした運動会、清掃や給食などを通じて、班の仲間とのつながりを深めていきます。

昔、各地域で子どもが多かった頃には、学校から帰ると、近所の子が学年関係なく集まって遊ぶ光景が日常としてありました。異年齢の仲間と遊ぶことで、いろんな遊びを自然に覚えたり、小さな喧嘩などを通じて人との関わりを学んだりしていました。しかし、急激な少子化が進んでいる今、地域ではそのような光景が極めて少なくなりつつあります。学校では、異年齢で関わる機会をできるだけ多くつくり、異年齢で関わるからこそ育まれる学びを大切にしていきたいと考えています。

## 新緑の季節を感じて — スクールバス徒歩登校 —

ゴールデンウィーク明けの7日（木）と8日（金）、スクールバスで通学している子どもたちが役場前や保育園前で降車し、学校に徒歩で登校しました。両日とも天候に恵まれ、子どもたちは美しい新緑を目にしながらか気持ちよく歩いていました。

本校では、約半数の子どもたちがスクールバスで通学しています。なかには、自宅付近から乗車して学校前で降車する子もいます。五感を通じて季節の移ろいを感じることができるよう、年間4回の徒歩登校を計画しています。次回は、6月中旬に実施する予定です。



## 子どもの感性を育む — おはなし会 —

本校では、今年度も子どもたちが読書の幅を広げ、読書に親しむことができるように、「ともだちや」「どんびんさんすけの会」「昔語りの会」の皆様のご協力のもと、読み語りの活動を展開していきます。

4月22日（水）には、早速、朝の時間に1回目の読み語りを実施しました。また、今月の13日（水）の1時間目には、45分間をたっぷり使って「おはなし会」を開催しました。この日は、いつもの読み語りとは一味違って「紙芝居」や「人形劇」なども行われました。子どもたちは、語りの楽しさに引き込まれ、自然と笑みを浮かべたり、時折笑い声をあげたりしながら聞き入っていました。また、クイズや歌を含んだお話を紹介していただくと、クイズのこたえを真剣に考えたり、語り手の方と一緒に歌を口ずさんだりするなど、共に楽しい時間を過ごしました。

読書や読み聞かせ、昔語りには、子どもの心がゆさぶられる楽しさがあります。今後も、読み語りを通じて子どもたちがどんな表情や反応を見せるのか、とても楽しみです。



## コラム — 生活に潤いを与える昇降口の花々 —

昇降口では、季節ごとに様々な花々が子どもたちを迎えてくれます。つい先日までは、色とりどりのチューリップ。色はもちろん、形にもいろいろな種類があります。世界では、なんと6000種以上もあるとか…。身近なところに花や植物があるだけで、自然と心が安らぎます。ちなみに、チューリップの花言葉は「博愛」「思いやり」だそうです。



西川学園西川小学校ホームページアドレス

<https://www.town.nishikawa.yamagata.jp/site/e-nishikawa/>

